伊勢路川水系斎田川
洪水浸水想定区域図
（想定最大規模）

1 説明文

（1）この図は、伊勢路川水系斎田川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、指定時点の斎田川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により斎田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）作成主体　：三重県

（2）指定年月日　：令和4年7月26日

（3）告示番号　：三重県告示第459号

（4）指定の根拠法令　：水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 2 項

（5）対象となる河川

・伊勢路川水系斎田川

検討対象区間　左岸：度会郡南伊勢町斎田から押淵川合流部まで

右岸：度会郡南伊勢町斎田から押淵川合流部まで

（6）指定の前提となる降雨　：伊勢路川流域の 24 時間の総雨量 1089㎜

（7）関係市町　：南伊勢町

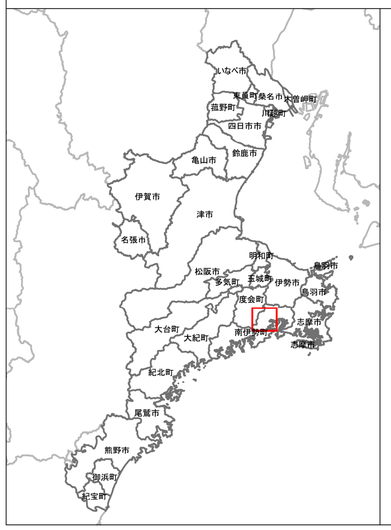
（8）その他計算条件等

① この図は、斎田川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。

② この図は、斎田川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
破堤地点は、三重県管理区間の斎田川 0.0k から 1.4k 地点において想定したものです。

③ 氾濫計算は、対象区域をおよそ 25m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として計算しています。
このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

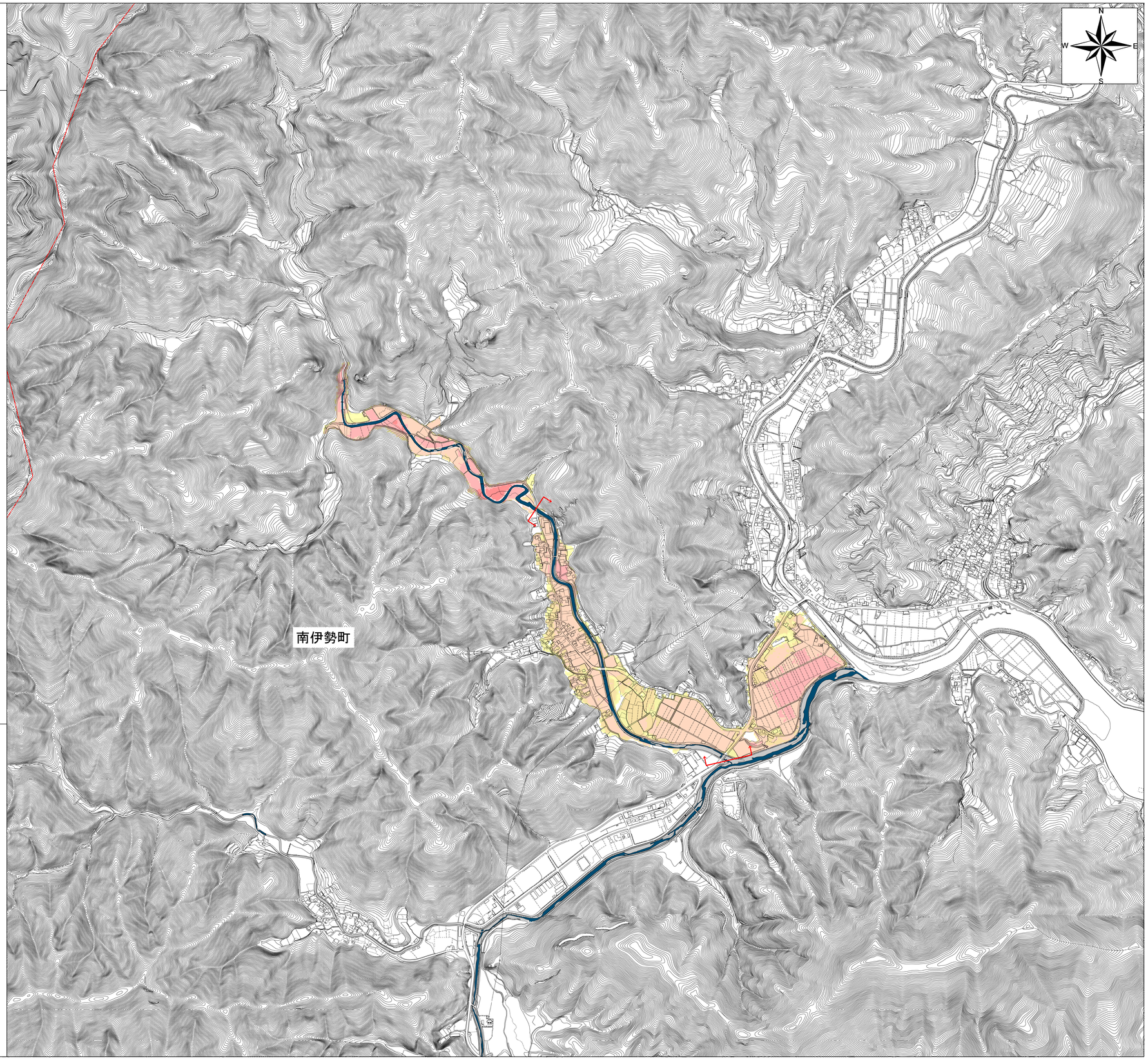
④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。



凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の検討対象区間



0　500　1,000　2,000　3,000 m

1:7,500

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所轄の「2011 三重県共有デジタル地図（数値地形図2500（道路縁1000）」を使用し、調整したものである。
（承認番号：三総合地第90号）本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とする。